

広報やまと

2012(H24)
2
No.84
如月
2月22日発行

舞い降りた神々の舞い

1月28日、蘇陽総合支所大ホールで開催された九州山地神楽祭り。仁瀬本神社神楽、白石神楽のほか県内外4つの団体が、その地に受け継がれる伝統の神楽のダイジェスト版を披露。会場を埋めた300人の神楽ファンを楽しませました。写真は白石神楽の八雲舞（4～5ページに関連記事）



Contents 主な内容

- 4～5P……………九州山地神楽祭り
- 6～7P……………県内市町村合同特集
- 12～13P……………まちの話題
- 16～17P……………どぶろく歌瀬
- 21P……………すくすく育て
- 24P……………農業コンクール



興柁修さん（左）・新子さん

熊本県農業コンクール大会経営体部門 優良賞 興柁 修さん・新子さん (上差尾)

優れた農業経営や、農業を支援する活動をしている個人や団体を表彰する熊本県農業コンクール(県・JAなど農業団体・熊本日日新聞主催)。第52回を迎えた今回、興柁修さん・新子さん(上差尾)が経営体部門の優良賞を受賞されました。ミニトマトとトマト(中玉)80aを中心とした経営を行う興柁さん。貯水池を作り、雨水を竹炭で浄化する灌水技術を活用して農業用水を確保するなど、さまざまな技術を確立しています。冬場のハウレンソウを組み合わせて、効率的な労働を実施。3年前に、息子さんを含んで家族経営協定を結び、さらなる作業



飯開政俊さん

同コンクールの「地域貢献賞」を飯開政俊さん(男成)が受賞されました。飯開さんは、イチゴ農家として新しい技術を積極的に導入、普及に協力して生産者の経営安定に尽力されました。また、JAかみましきの理事、町農業委員を歴任され、地域農業の課題解決に大きく貢献されています。

地域貢献賞に飯開政俊さん

の効率化を図っています。JA阿蘇の理事も務める修さん。新子さんとともに地域農業のリーダーとしても活躍中です。興柁さん夫妻は、2008年には、県野菜振興協会が主催する農業経営コンクールでも優賞を受賞されています。「山間地でも、工夫して農業用水を確保できれば、立派なトマトを作れる」ということを証明できた。」と受賞の感想を語ってくれました。

JAかみましき トマト部会が優賞



受賞式の部会役員の方々。
左から荒木孝夫清和支部副支部長、藤原修一部会長、山村信一郎副部会長。

熊本県野菜振興協会が主催する第53回熊本県野菜振興大会が、2月7日熊本市で行われました。この中で第1回野菜組織活動コンクールの表彰式があり、JAかみましきトマト部会(藤原修一部会長)が優賞を受賞しました。このコンクールは、部会など組織での活動が評価されます。目標をたて、その成果とプロセスが審査されるもので、今回初めて開催されました。JAかみましきトマト部会は、①生産性の向上②品質向上③ブランドの構築の目標を設定。その目標への活動内容と成果が認められた優賞です。

平成23年度交通安全標語 コンクール入選作品

山都地区交通安全協会が募集した、交通安全の標語コンクールの入選作品を毎月2作品ずつご紹介していきます。(学校名・学年は当時)

- 横断歩道 青になっても みぎひだり (清和小6年 中河 穂香)
- あぶないよ わきみケイタイ 事故のもと (中島小6年 中川あまね)